

子ども広場、子ども食堂、子ども教室の取組み

～「地域の児童の非認知能力の向上」と「他法人への普及」を目指して～



社会福祉法人 光志福祉会 香川県丸亀市 デイサービスセンターねむの木

社会福祉法人 光志福祉会の概要

- 香川県丸亀市、観音寺市、高松市の3市で17の介護施設・児童施設・障害者施設を運営。デイサービス、グループホームは3市で3施設を運営
- 2011年設立（2005年開設の(株)プランナーを統合）
- 職員数309名
- 年商13億63百万円（2024年度）

デイサービスセンターネムの木の概要

- 丸亀市で2005年6月に開設、2023年7月に増築
- 定員65名（介護職員を増やし定員100名まで増やす計画）
- 職員38名（常勤16名、非常勤22名）取組は、併設する法人本部職員と共同実施

子ども広場

2021年度高松、2022年度丸亀、2023年度観音寺のデイサービスで運営開始

施設近くの小学生が、放課後、デイサービスに立ち寄り、掃除やタオルたたみなどのボランティア活動を行うとポイントが貯まり、ほしいものがもらえるボランティア支援の取り組み

〇月曜日から土曜日まで利用可（15～17時、土曜は14～17時）

机・椅子拭き



ゴミ箱作り



タオルたたみ



〇ご利用者とのふれあい交流

- ①レクリエーションへの参加 カレンダー作りでは「蝶々結び」をご利用者から教わる
- ②おやつ、飲み物の提供 子どもたちから「どうぞ」とおやつ、飲み物を提供
- ③お見送り 16時の御帰りの際、子どもたちが「さよなら」と声掛けしてお見送り⇒**ご利用者も笑顔で応えてくださる**



子ども食堂

2022年度丸亀、2023年度観音寺のデイサービスで運営開始

- ・毎週水曜日の夕食を、事前に申込のあった小学生等に提供（17～19時）
 - ・毎月第4水曜日には、老人ホームご利用者とのふれあい交流を実施（18:30～19時）
- 児童のジェスチャー（動物、昆虫、スポーツ競技）をご利用者が当てる
- 風船バレー（ご利用者が前衛、児童が後衛の2チームで競う）⇒最後に「いつまでもお元気で」と握手！



子ども教室

2022年度丸亀のデイサービスで運営開始

- ・毎週水曜日に「英語」、木曜日に「ダンス」、火曜日に「習字・硬筆」の月謝無料で参加できる教室を実施（17時～）



子ども広場、子ども食堂、子ども教室の運営時間

	月	火	水		木	金	土
14時							
15時							子ども広場 (交流)
16時	子ども広場 (お手伝い、宿題)	子ども広場 (お手伝い、宿題)	子ども広場 (お手伝い、宿題)		子ども広場 (お手伝い、宿題)	子ども広場 (お手伝い、宿題)	子ども広場 (お手伝い、宿題)
17時		習字・ 硬筆教室	子ども食堂	英語教室 低学年	ダンス教室 低学年		
18時				英語教室 高学年	ダンス教室 高学年		
19時							

※夏休み、冬休み、春休みには、14～15時は「子ども広場(交流)」を実施可

取組目的と取組開始の経緯

取組目的

地域の児童の非認知能力を高めること
(コミュニケーション能力、協調性、自己肯定感など)

取組開始の経緯

①2010年頃、香川県の児童の自己肯定感が低いとの情報、児童の貧困が報道

⇒学校から帰っても両親の帰宅は遅く、孤食となっている児童が居る。挨拶する、会話をするなどの習慣がない。ゲームを長くしていても叱られない家庭環境の児童も多い

②2021年、SDGsとしての取組みを検討していた際、施設周辺の小中学校の教頭を訪問し、「地域貢献として地域の企業に期待するものは何か」質問

⇒「子どもの社会性を高める取り組み」をしていただけるとありがたいとの回答

(家庭の教育力の低下により、小学校入学前に「トイレを出る際、使ったスリッパを並べる習慣」を持たない児童がいる)

③当法人は

- ・ 3箇所でデイサービスを運営しており、日中、多くの高齢者が集まる
- ・ 16時で施設の利用を終えることから、施設の高齢者にも参加いただきながら、子育て支援に寄与できると考えた
- ・ 2019年度から3年間、県補助を受け「不登校、ひきこもり児童の居場所」を運営。相談員を配置しても利用のない日も発生。子ども食堂の方が多く関わりを持てる

大学教員による支援

○当法人の理事長が加入する経営者団体で知り合った経緯により、4年前からオンラインによる指導を受ける。

○愛媛大学教育学部所属の教員2名

○2022年2月～2023年3月 毎月1回オンライン90分

2023年5月～2024年3月 隔月1回オンライン90分

2024年7月～現在 年3回(4か月毎)オンライン90分

○主な協議項目

①取組目的は「地域の児童の非認知能力を高めること」が良い

②「非認知能力の向上を評価できるか」

⇒「参加児童のアンケート調査」と「関係者(保護者、職員、ボランティア、講師)アンケート調査」

③他法人へ取組を普及させるための方法

取組開始3年半の成果

①参加児童の増加

月間延利用児童数 2022年度平均 151名、2023年度平均 324名、2024年度平均 474名
2022年度比 2倍 2022年度比 3倍

毎年3月、施設周辺の5つの小学校の全校生(2300名)にチラシを配布
⇒3月中・下旬、施設で説明会を開催⇒説明、施設見学の後、登録申請

「コドモン(こども園向け児童管理ソフト)」により登録児童情報を入力することで、

○参加申込が24時間可能

○広場、食堂、教室への参加のための施設到着日時、施設退出日時のデータ管理が容易

○保護者への一斉連絡、アンケート、アンケート結果のスプレッドシート整理が容易

2022年4月～実数33名(延52)が新規・追加登録(広場11、食堂11、英語18、ダンス10)

2023年4月～実数15名(延48)が新規・追加登録(広場15、食堂13、英語13、ダンス7)

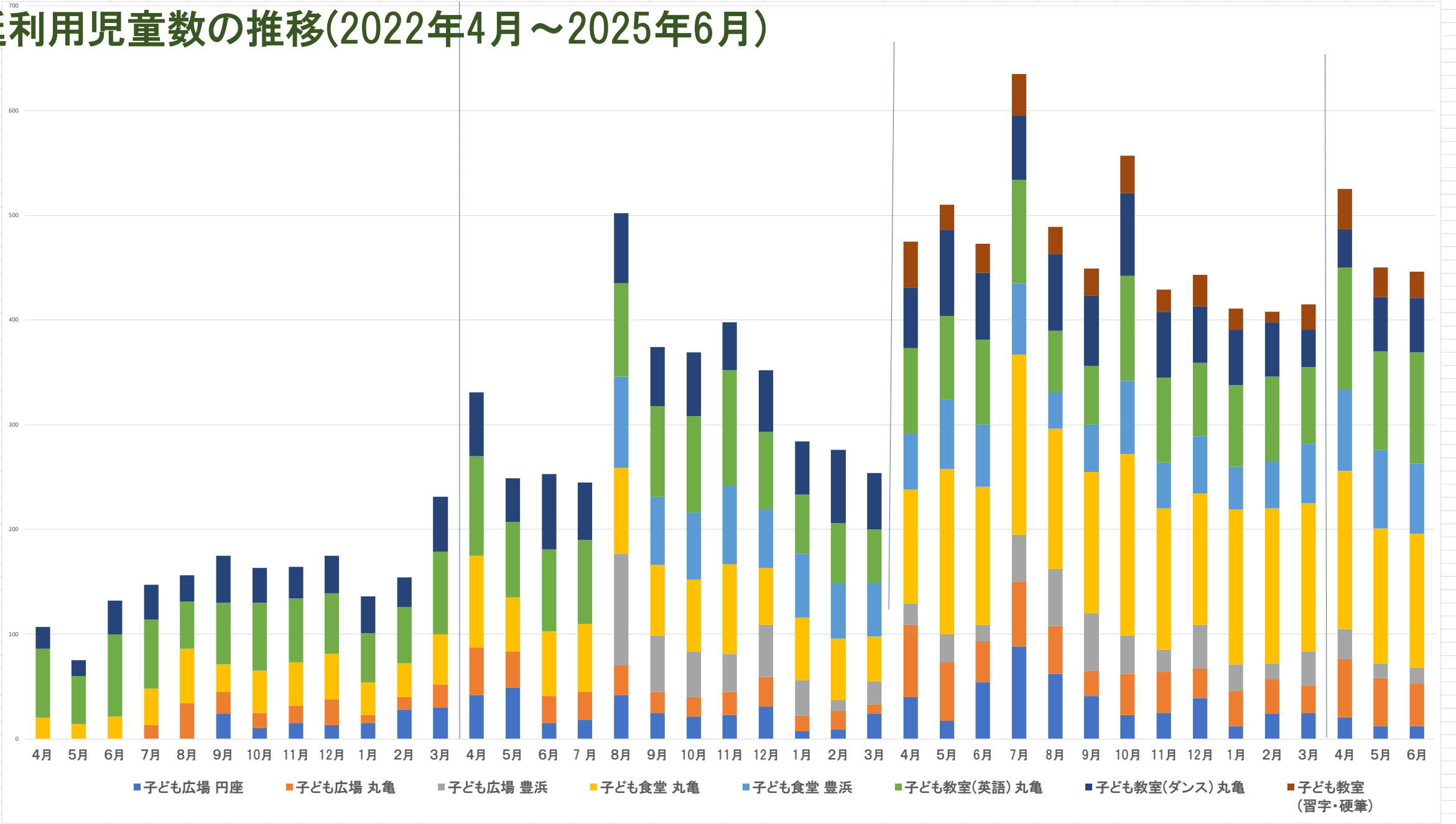
2024年4月～実数24名(延49)が新規・追加登録(広場17、食堂14、英語2、ダンス7、習字・硬筆9)

※英語低学年は募集なし

2025年4月～実数19名(延46)が新規・追加登録(広場12、食堂8、英語16、ダンス7、習字・硬筆3)

※英語高学年は募集なし

延利用児童数の推移(2022年4月～2025年6月)



2022年度

2023年度

2024年度

2025年度

取組開始3年半の成果

②保護者のアンケート結果から

- 【子ども広場】 ○誰かの役に立てている実感から、存在価値が見いだせ、自分に自信を持ってきたように感じます。
- 【子ども食堂】 ○他の子を見て食べ方を学んだり、食べず嫌いがなくなったりしています。
- 【子ども教室】 ○(マルシェのミニ英語教室で)教室ではっきりと大きな声で答えられている姿をみて関心しました。

③講師、ボランティア、職員へのアンケート結果から

- 【子ども広場(職員)】 ○ご利用者の喜ぶお顔にやりがいを感じます。
- 【子ども食堂(ボランティア)】 ○食堂に来るうちに、リーダーのようにまとめる力が育ってきました。
- 【子ども教室(講師)】
 - (英語)言葉にすることが苦手な子ども、根気強く待つと、小さな声で返答できるようになり、成長を感じます。
 - (ダンス)自分なりに曲の雰囲気を読み、感情を出すようになってきた子どもたちが増えてうれしいです。
 - (習字・硬筆)迎えに来た保護者に今日のがんばりを伝えるとき、うれしそうにしている子どもの顔を見ると「ほめる」のが大切だと実感します。

取組みの課題

【子ども広場「参加児童の確保」】

○毎年、施設周辺の5つの小学校の全校生2300人に参加を促すチラシを配布。毎年10数人が子ども広場に登録。

⇒子ども食堂の利用児童の中で、食堂の前に子ども広場を利用する児童が増加。2024年度以降は、毎週水曜日には10人程度の利用が定着。

【子ども食堂「ボランティアの確保」】

○開設年度は、調理ボランティアに加え、高校生のボランティア参加が多くあった。

2年目も、専門学校の学生ボランティアが継続して参加があった。

⇒3年目に入り、調理ボランティアが順次離脱したため、子ども食堂専任の水曜日のみを勤務時間とするパート調理師を募集し、採用した。

⇒大学生、短大生の学生ボランティアは継続しているものの、実習や就活に伴う不参加期間があり、募集を継続する必要がある。

【子ども教室「講師の確保」】

○市教育委員会に、教員OBの推薦を依頼したが推薦なし。

○2021年12月、職員に講師意向調査票を提示し、講師の推薦を依頼

⇒職員から提示のあった候補者とオンライン面接し、教室の運営方法、開設曜日、謝金、準備物等を聴取

⇒2022年4月から英語とダンスで、2024年4月から習字・硬筆で講師と委託契約を締結

今後の展開 「他法人への普及①」

【なぜ、他法人への普及を進めるのか】

①当法人では、2021年度から高松市、2022年度から丸亀市、2023年度から観音寺市のデイサービスで取組みを実施し、法人内での取組施設を増やしてきた。

②保護者への説明会の後、「こんな取組みに参加できると保護者は助かる」との発言

⇒3年半の取組みで得たノウハウを活用し、他法人への普及を進めることで、社会福祉法人としての公益活動の成果を拡大させたい。

③伴走支援をいただいている「愛媛大学教育学部の2人の教員」との協議により、「他法人への普及」を継続して検討

今後の展開 「他法人への普及②」

①開設・運営マニュアルの作成

- ・ 2023年7月、同様の取組みを効率的・効果的に開設、運営するためのポイントをまとめた「マニュアル」を作成

②分かりやすいパンフレット、動画の作成

- ・ 2024年度 職員により動画作成
- ・ 2025年度 職員によりパンフレット作成。動画修正(次ページのQRコードをご覧ください)。

③施設見学会の開催

- ・ 2023年7月、県内200のデイサービス管理者に開催通知し、見学会を開催
- ・ 2025年10月～毎週水曜日 事前申込があれば施設見学可

④連絡会の開催

- ・ 2025年10月～取組検討中の施設がオンライン等で参加し、課題解決に向けた協議を行う

今後の展開 「他法人への普及③」

【この会議を普及の契機とするため】

次のQRコードをスマホで読み込み、アンケートの回答をお願いします

アンケート1 「この発表を聞いて、どんなところに関心を持ちましたか」

アンケート2 「あなたの施設でこの取組みを実施したいと思いましたか」

アンケート3 「どんな支援があれば、取組みが他法人に普及すると思いますか」

アンケート4 「見学会、連絡会への参加の可能性はありますか」

アンケートQRコード



子ども広場等取組支援

1 パンフレット



2 動画 子ども広場 (各3分間)



子ども食堂



子ども教室



3 児童募集用チラシ 子ども広場



子ども食堂



子ども教室



4 説明会資料



5 登録申請書



6 開設・運営マニュアル

